

神奈川7位初入賞

【神奈川選手個人区間記録】

区区	選手名	所	記	録	区総
1区	内田	隼太	(法政二高)	20分13秒	11(11)
2区	安倍	立矩	(小鮎中)	8分57秒	32(15)
3区	館沢	亨次	(東海大)	24分13秒	4(12)
4区	谷澤	竜弥	(金沢高)	14分36秒	6(8)
5区	鎌田	航生	(法政二高)	25分2秒	3(3)
6区	安澤	駿空	(久木中)	8分54秒	4(3)
7区	越川	堅太	(神奈川大)	39分14秒	25(7)



都道府県対抗男子駅伝

第23回全国都道府県対抗男子駅伝が21日、広島市平和記念公園前発着の7区間、48キロで行われ、神奈川は2時間21分9秒で7位に食い込み、初の入賞を果たした。埼玉が2時間19分10秒で3年ぶり2度目の優勝を果たした。

(神奈川大)が入賞圏内を守った。

2番手グループに付けていた埼玉は、4位でたの快走でそのまま逃げ切った。

これまで何度も8位の壁に阻まれてきた神奈川。そ沢は「これが高校最後の駅伝に従事した」。5人抜きの区間3位で、チームを一時3位まで押し上げた。

原動力は中高生の快走劇だ。チームの大黒柱の3区館沢(東海大)は15位で

すきを受けたが、箱根駅伝の疲労が抜けきらなかつたことも影響し、区間4位の力走ながら順位を三つ上げ

若手快走歓喜呼ぶ

神奈川はトップと43秒差の15位でたすきを受けた3区館沢(東海大)が区間4位の走りで順位を三つ上げると、4区谷澤(金沢高)の力走で8位に浮上。5区鎌田(法政二高)は区間3位、6区安澤(久木中)も区間4位の走りで順位を三つ上げると、7区内田(法政二高)が区間3位まで押し上げ、アンカー越川(神奈川大)が区間2位で長野を抜いて4位で長野を抜いて46秒差で2位、3位は千葉2時間20分34秒(千葉)を守った。

これまで何度も8位の壁に阻まれてきた神奈川。そ沢は「これが高校最後の駅伝に従事した」。5人抜きの区間3位で、チームを一時3位まで押し上げた。

原動力は中高生の快走劇だ。チームの大黒柱の3区館沢(東海大)は15位で

すきを受けたが、箱根駅伝の疲労が抜けきらなかつたことも影響し、区間4位の力走ながら順位を三つ上げ

すきを受けたが、箱根駅伝の疲労が抜けきらなかつたことも影響し、区間4位の力走ながら順位を三つ上げ

すきを受けたが、箱根駅伝の疲労が抜けきらなかつたことも影響し、区間4位の力走ながら順位を三つ上げ

すきを受けたが、箱根駅伝の疲労が抜けきらなかつたことも影響し、区間4位の力走ながら順位を三つ上げ

すきを受けたが、箱根駅伝の疲労が抜けきらなかつたことも影響し、区間4位の力走ながら順位を三つ上げ

5区 鎌田、事故にも負けず

区間3位の5区鎌田(法政二高)が、チーム初入賞に大きく貢献。「突っ込んできつくなり、気持ちよく走れた」と納得の表情だ。発揮する高校3年の冬も間近だったが、「焦つてもう一度けがして足を痛めて3週間離脱。集大成を

が、チーム流れに乗つた。大会前から地道に長距離の練習を積んで備えてきた。中高生は理想的な走りがでた。今年は実つた。チーム初入賞についても「うれしい」。

(鎌田 匠)